

中国知的財産権



# ニュースレター

中国国際貿易促進委員会特許商標事務所

2021年第12号 (全82号)

2021年12月30日



〒100031 中国

北京市西城区復興門内大街 158 号

遠洋大厦 10 階

TEL : +86-10-66412345

FAX : +86-10-66415678/10-66413211

E-MAIL: mail@ccpit-patent.com.cn

〒107-0052 日本

東京都港区赤坂 1-9-13

三会堂ビルディング 3 階

TEL: +81-3-5572-6686

FAX: +81-3-5572-6687

E-MAIL: Tokyo@ccpit-patent.com.cn

[www.ccpit-patent.com.cn](http://www.ccpit-patent.com.cn)

## 目次

『商標の一般的違法行為の判断基準』が公布.....	2
司法部 より多くの弁護士、特に優秀な若手弁護士が知的財産権業務に携わるように指導 .....	3
国家知識産権局 商標権侵害案件における不当利得の適用についての回答.....	5
AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報.....	6

## 『商標の一般的違法行為の判断基準』が公布

先頃、商標管理の強化、法執行基準の統一化、法執行レベルの向上を図るために、国家知識産権局が『商標の一般的違法行為の判断基準』（以下、『基準』という）を公布し、商標管理秩序違反行為の判断基準を統一した。

商標管理は中国商標法体系において重要な地位にあり、重要な役割を果たしている。『商標法』は、第一条で商標管理の強化をその立法趣旨の一つとし、特に章を設けて商標使用の管理について規定を定めている。『知的財産権強国建設綱要（2021-2035年）』は「知的財産権の創造、活用、保護、管理並びにサービスレベルを全面的に向上させる」としている。商標管理の秩序の規範化をめぐる『基準』の制定は、商標管理を強化し、商標法執行業務の指導を強化する上で実際的に必要であるだけでなく、知的財産権強国建設の具体的な措置でもある。

『基準』は商標管理の有益な経験と方法を体系的に整理し、まとめており、法執行において広く存在する顕著な課題に焦点を当て、商標法執行部門に方向性を明確にした指導を、市場主体に透明性と予見性の高い商標管理規則を提供している。『基準』は35条からなり、現行の商標の法律・法規及び部門規則で規定された9の商標管理秩序に反する行為について詳細に規定している。具体的には、登録商標を使用すべきところを使用していない、商標として使用してはならない標章を使用する、商業活動で「馳名商標」の文字を使用する、商標の実施権者がその名称と製品の産地を明記していない、登録商標、登録者名義、住所又はその他の登録書誌事項を勝手に変更する、未登録の商標を登録商標と偽って使用する、団体商標、証明商標に対する管理義務を履行しない、商標印刷の管理義務を履行しない、悪意の商標出願である。

今後、国家知識産権局は『基準』の解釈、普及、実行を強化し、関連研修に力を入れ、『基準』の実施を推進する。同時に、指導事例、典型案件の公表や行政返答などを引き続き行い、業務指導体制を絶えずに改善し、法執行による保護レベルを向上させ、知的財産権の保護と管理を強化し、イノベーション環境と営業環境の最適化を継続する。

[https://www.cnipa.gov.cn/art/2021/12/14/art\\_53\\_172189.html](https://www.cnipa.gov.cn/art/2021/12/14/art_53_172189.html)

## 司法部 より多くの弁護士、特に優秀な若手弁護士が知的財産権業務に携わるように指導

中国司法部は11月19日に第13期全人代第4回会議の「知的財産権保護の人材育成の強化に関する提案」の回答文として、『第13期全人代第4回会議第2813号提案に対する司法部の回答』を発表した。

知的財産権保護の強化は財産権保護制度を完備化させるための最も重要なことであり、中国の経済競争力を向上させる最大のインセンティブでもある。近年、司法部は知的財産権保護を非常に重要視し、知的財産権分野の行政立法、行政法執行及び法律サービスを全面的に強化し、知的財産権保護システムの健全化と保護の強化を推進している。特に知的財産権保護において弁護士などの法律サービスの専門家が強みを発揮することを重要視し、弁護士事務所、弁護士が法により知的財産権業務に従事し、企業の法律顧問や弁護士が知的財産権保護を重要な仕事として扱い、知的財産権の法的リスクヘッジ、紛争解決、権益保護などを全うし、知的財産権保護に積極的に貢献するよう指導している。

現在は中国の知的財産権保護の専門家、特に質の高い弁護士が不足しており、新時期の知的財産権保護のニーズに対応できていない。

今後、司法部は知的財産権保護の新しい状況に適応するため、以下の方面から知的財産権の法律サービス業務を更に強化する。

一、知的財産権を専門とする弁護士チームを育成、拡大し、より多くの弁護士、特に優秀な若手弁護士が知的財産権業務に従事するよう指導し、知的財産権分野専門の弁護士事務所を開設することを奨励する。

二、知的財産権分野の弁護士の専門性評価の試験的作業を深め、各級弁護士協会の知的財産権専門委員会の設置を強化し、豊富で多彩な知的財産権業務研修と交流・研究討論活動を展開して、知的財産権弁護士チームの専門性向上を促進する。

三、知的財産権業務に携わる弁護士が特許弁理士の資格や従業登録証を取得するよう奨励し、法学部、理学部、工学部など複数学科で学んだ経験を持つ複合型人才をより多く育成し、弁護士の知的財産権業務処理レベルを向上させる。

四、知的財産権分野の法律サービスにかかわる典型案件の選考・発表メカニズムを構築し、知的財産権分野で実績を上げた弁護士や弁護士事務所を国の関係規定に従って表彰し、宣伝活動の活発化を通じて知的財産権弁護士の職業プライドを向上させる。

五、弁護士に対して、知的財産権にかかわる法律サービス、特に知的財産権案件の処理に従事する上での指導、監督を強化し、弁護士が法や規範に従って



誠実に業務を行い、社会的責任を真摯に履行し、国民及び企業の合法的權益を保護し、知的財産権強国の建設に貢献するよう指導する。

[http://www.moj.gov.cn/pub/sfbgw/zwxxgk/fdzdgknr/fdzdgknr\\_jyta/202111/t20211119\\_441936.html](http://www.moj.gov.cn/pub/sfbgw/zwxxgk/fdzdgknr/fdzdgknr_jyta/202111/t20211119_441936.html)

## 国家知識産権局 商標権侵害案件における不当利得の適用についての回答

先頃、中国国家知識産権局は、湖南省知識産権局が提出した『商標権侵害行政取締案件における不当利得の適用の明確化の要請に関する伺い書』について、以下のように回答した。

### 一、商標権侵害案件における「不当利得」の適用について

2021年7月15日より施行された『中華人民共和国行政処罰法』（以下、『行政処罰法』と略す）第28条第2項は、「当事者の不当利得は、法により返還、賠償にあたる部分を除き、没収されなければならない。……」と規定している。同規定の適用対象は商標法執行部門によって処理される商標権侵害案件である。商標権侵害案件の場合、商標法は「権利侵害商品、商品製造や登録商標の標章の偽造に使う道具を没収、廃棄する」と規定しているほか、「罰金」の行政罰も科している。商標法執行部門は「過罰相当の原則」に従い、具体的な案件情状を総合的に勘案しながら、不当利得を没収し、罰金を科さなければならない。

### 二、商標権侵害案件における「不当利得の算出方法」の適用について

『行政処罰法』第28条第2項は、「……。法律、行政法規、部門の規則に不当利得の算出方法について別段の定めがある場合、その定めに従う」と規定している。現行の『工商行政管理機関の行政罰案件における不当利得の認定方法』第2条は「不当利得の認定について、工商行政管理機関は、当事者が違法の製造、商品販売又はサービス提供を通じて得た収入総額からその経営活動に直接に用いた適当な合理的支出を除いたものを不当利得と認定することを基本原則としている」としており、同規定は『行政処罰法』第28条の計算方法を詳細化したものと理解して、商標法執行部門が商標権侵の取締において不法利得の確定に適用することができる。

[http://www.cnipa.gov.cn/art/2021/12/16/art\\_546\\_172241.html](http://www.cnipa.gov.cn/art/2021/12/16/art_546_172241.html)

## AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報

### 之江実験室が米 AAAS と連携して

#### 『Science』誌のパートナージャーナル『Intelligent Computing』を創刊

之江実験室（浙江省政府、浙江大学、アリババグループが共同で設立した R&D 機関）とアメリカ科学振興協会（American Association for the Advancement of Science、AAAS）が 11 月 16 日に杭州とワシントンでオンラインにより共同創刊契約を締結し、『Science』誌のパートナージャーナルである『Intelligent Computing』を共同で発行することになった。年内に投稿・審査システムの開発・構築が完了し、『Science』誌のウェブサイトパートナージャーナルのウェブページが完成する見込みである。投稿・審査システムは 2022 年 1 月に開始され、正式に投稿の受付を始めるという。

AAAS は 1848 年に設立された世界最大の科学・工学協会のコンソーシアムで、『Science』誌の発行者・出版元でもある。『Science』誌のパートナージャーナルプロジェクトは、国際研究機関、財団、スポンサー、社会組織と協力して、トップレベルの国際研究機関に技術・出版のサポートを提供するものである。

紹介によると、『Intelligent Computing』誌は、世界中のコンピューティング科学・技術分野の研究者のために開放的なコミュニケーション・プラットフォームを構築し、インテリジェントコンピューティング分野における最新の学術研究成果や技術的ブレークスルーを発表し、科学・技術の発展を促進することを目的としている。

之江実験室の主任を務める朱世強氏と『Science』シリーズジャーナルの出版者である Bill Moran 氏が代表として契約を結んだ。

朱世強氏は、インテリジェントコンピューティングは、AI の発展を支える「最も重要な生産力」であると述べた。之江実験室は、人間・コンピュータ・オブジェクトの三者の空間統合のニーズを満たすインテリジェントコンピューティングの理論・技術・標準システムの構築に取り組んでおり、それには世界中の関連研究分野の科学者が共同で探求し、努力することが必要であると強調し、今回、AAAS と協力してジャーナルを発行することは、インテリジェントコンピューティング分野における世界中の科学者のために学術交流のプラットフォームを構築し、コンピューティング能力、エネルギー消費、セキュリティと信頼性、知能レベルなど、コンピューティング技術が直面している課題に共同で取り組み、インテリジェントコンピューティングがエンパワーする持続可能な発展の道を模索するものとなるだろう語った。

Bill Moran氏は、AAASは之江実験室との連携を非常に重視していると述べ、私たち双方は、インテリジェントコンピューティングで科学をさらに発展させるという共通の目標で、『Science』誌のパートナージャーナルである

『Intelligent Computing』を共同で発行し、インテリジェントコンピューティング技術の発展を推し進めると同時に、世界中の同分野の科学者たちが将来のインテリジェント時代を創造し、最先端の探究成果を共有するためにプラットフォームを構築したと語った。

<https://www.chinanews.com.cn/gn/2021/11-17/9610753.shtml>



## 2021 中国 5G+インダストリアルインターネット大会が武漢で開幕

中国工業・情報化部と湖北省政府が共催する、2021 中国 5G+インダストリアルインターネット大会が 11 月 20 日に武漢で開幕した。「5G+インダストリアルインターネット」分野で唯一の国家レベルのイベントである。

今回の大会は「5G は様々な産業の連携をエンパワーし、インテリジェントが未来をリードする」をテーマに、中国の「5G+インダストリアルインターネット」の主要産業の代表的なアプリケーション、融合・イノベーション、キーテクノロジーなどに焦点が当てられた。2つのメインフォーラムでは、「5G+インダストリアルインターネット」がいかにデジタル経済の発展の基盤を強化し、さまざまな産業のインテリジェント化のアップグレードに力を与えるかについて議論された。さらに、22 の分科会が催され、産業のデジタル化、コネクテッドカー、5G+冶金・鉄鋼など、5G とインダストリアルインターネットの様々な細かい分野をめぐって検討がなされた。

同時に開催された「5G+インダストリアルインターネット」成果展では、インダストリアルインターネットの特定ニーズに応える 5G キーテクノロジー、産業用公共サービスプラットフォーム、5G アプリケーションの主要業界、5G がエンパワーする典型的な産業アプリケーションシーンなどが展示された。また、専門家以外の来場者を対象としたインタラクション展示エリアでは、5G、AI、インダストリアルインターネットなどの次世代情報技術がもたらす生活や生産の変化を、映像、シーン、没入型の手法で体験することができた。

中国の 5G+インダストリアルインターネットは現在 1,800 以上のプロジェクトが建設中であり、関連アプリケーションは生産・製造の周辺部分から内側の核心部分へと急速に拡張しているという。

<http://www.chinanews.com.cn/cj/2021/11-20/9613028.shtml>

## 2021年国内外のスマート製造における科学技術の10大進歩が発表

2021世界スマート製造大会が12月8日、江蘇省・南京市で開催された。開幕式では、中国科学技術協会スマート製造学会コンソーシアム専門家委員会主任兼中国機械工学学会理事長で、中国最高技術研究機関である中国工程院メンバーの李培根氏が「2021年世界のスマート製造における科学技術の10大進歩」、「2021年中国のスマート製造における科学技術の10大進歩」を発表した。

選出された「2021年世界のスマート製造における科学技術の10大進歩」、「2021年中国のスマート製造における科学技術の10大進歩」は、スマート製造技術・設備、スマート化生産現場・工場、スマート製造の基礎・標準・新モデルなどを基準として、スマート製造の先端技術、発展・応用の傾向を持続的に追跡し、異なる業界、企業によるスマート製造推進の実践例を研究・分析したものである。主に業界及び専門家が注目するスマート製造の発展をけん引でき、大きな影響力を持つ科学技術成果を反映しており、スマート製造の発展のトレンドを把握し、スマート製造の発展を導き、スマート製造の健全なエコシステムを構築することを目的としている。

選出された科学技術の10大進歩プロジェクトは下記の通りである。

### 「2021年世界のスマート製造における科学技術10大進歩」

- ・次世代製造運営管理プラットフォーム「MOMnext」
- ・コーティング業界におけるパーソナライズされたカスタマイズの新モデル
- ・エネルギー・環境統合プラットフォーム「E-JIT」
- ・データ融合・可視化管理のIIoTプラットフォーム「moneo」
- ・デジタルツインローコードプラットフォーム「WISE-InsightAPM」
- ・S4+P4 板金フレキシブル生産ライン
- ・電動乗用車バッテリースマート生産現場
- ・ロボット自動プログラミングにおけるAIによるエンパワーメント
- ・多学科最適化に基づく構造軽量化設計方法・プロセス
- ・人体全脳ナビゲーションと治療効果の評価・分析システム

### 「2021年中国のスマート製造における科学技術10大進歩」

- ・深海有人潜水船「奮闘者」号スマート製造技術
- ・グリーン・高効率温室設備と環境インテリジェント管理・制御技術
- ・小型衛星スマート生産ライン
- ・感染症生物検体大量自動化採取のキーテクノロジー・システム
- ・クロススケールマルチ材質鋳造部品のスマート加工ロボット技術

- ・ 大型蒸気タービン発電機回転子コイルスマート製造生産ライン
- ・ 空中農薬散布の正確な作業管理・制御技術装備及びシステム
- ・ インダストリアル・インターネットビッグデータプラットフォームに基づくスマート溶接工場
- ・ 主要食糧生産作業全プロセス自動化ソリューション
- ・ データフローに基づくスマート紡績工場のキーテクノロジー及び産業化

<http://finance.sina.com.cn/jjxw/2021-12-09/doc-ikyakumx3014189.shtml>